

プレ公示案件への質問回答

【競争参加者様へ：留意点】
プレ公示段階での質問回答での回答内容は、企画競争説明書／入札説明書の段階で変更の可能性があります。

※掲載方法を公示予定日が早い順に案件ごとにまとめて掲載いたします。新たに掲載いたしました質問回答についてはセルを水色にしております。

2026年7月8日 更新						
公示予定日	調達管理番号	案件名	担当部・課	質問内容	回答	回答日
2026年7月8日	26a00184000000	全世界2026年度案件別外部事後評価パッケージⅡ-3(ギニア、マダガスカル、ブルキナファソ、セネガル)(QCBS-ランブサム型)	評価部事業評価第一課	現地渡航を想定されている場合、社の安全管理上の理由から、業務従事者は現地渡航せず、現地調査補助員を活用して現地調査を行う提案をした場合、現地渡航を前提とした提案と比較してマイナスに評価されることはありますか？	外部事後評価は、特記仕様書で机上調査(現地渡航なし)とした場合を除き、1回以上の現地調査としていますが、成果品の質が確保されることがプロポーザルの提案で確認できた場合は、渡航回数のみでマイナスの評価は行いません。	2026年4月15日
2026年7月8日	26a00321000000	全世界(広域)医療サービスの質向上アドバイザー(東ティモール、フィジー)	人間開発部保健第二グループ	東ティモール、フィジー、およびキリバスそれぞれで、個別にR/Dを締結しているのでしょうか。	技術協力個別案件(個別専門家)であり、R/D締結は行っておりません。東ティモール、フィジーからそれぞれ要請が出され、実施に至るものです。	2026年6月3日
2026年7月8日	26a00469000000	モンゴル国・エスワティニ国のインクルーシブ教育分野にかかる各国別研修の実施業務(QCBS-ランブサム型)	人間開発部基礎教育グループ	研修の成果についてお伺いします。参加者の行動変容なのか、所属機関での制度改善・実践定着なのか、と言ったレベルはあるでしょうか。それがモンゴルとエスワティニで異なるでしょうか。	モンゴル、エスワティニともに本邦研修を通じて研修員はアクションプランを作成し、帰国後の研修員によるアクションプランの実施を通じて制度改善や実践定着を図っていくことが期待されます。	2026年7月3日
2026年7月8日	26a00469000000	モンゴル国・エスワティニ国のインクルーシブ教育分野にかかる各国別研修の実施業務(QCBS-ランブサム型)	人間開発部基礎教育グループ	研修の対象者は、中央省庁、教育行政、学校管理職、教員、特別支援担当、進路指導担当、教員養成機関等の、どの組織やどの層でしょうか。	モンゴル、エスワティニの各国の研修員候補者の属性については、7/1付のご質問への回答に記載のとおりですが、各年度の本邦研修では、必要に応じて対象する研修員の属性を変えることが考えられます。	2026年7月3日
2026年7月8日	26a00469000000	モンゴル国・エスワティニ国のインクルーシブ教育分野にかかる各国別研修の実施業務(QCBS-ランブサム型)	人間開発部基礎教育グループ	インクルーシブ教育の定義は国によって多少異なると思います。ここでは日本的な定義(一人ひとりの教育的ニーズに多様な学びの場の選択肢を持ちながら、自立・社会参加を目指して支援を組み合わせる)と考えて良いのでしょうか。貴機構で何かしら設定されるのでしょうか。また、障害も個人的な特性だけでなく環境との相互作用も考えられますが、環境変化的な働き掛けも研修の範囲になるのでしょうか。	モンゴル、エスワティニ各国において目指すところはフルインクルージョンですが、各国の教育現場の実情をもとに本邦研修の計画を策定することが本業務では求められます。環境変化的な働きかけも研修の範囲に含むことも考えられます。	2026年7月3日
2026年7月8日	26a00469000000	モンゴル国・エスワティニ国のインクルーシブ教育分野にかかる各国別研修の実施業務(QCBS-ランブサム型)	人間開発部基礎教育グループ	渡航は行わず、研修実施後の遠隔のモニタリングをするのでしょうか。モニタリング対象は過去の研修参加者も対象になるのでしょうか。	本業務では渡航は行わずに、研修実施後の遠隔のモニタリングを想定しております。モニタリング対象は今回の業務の対象となる、2026年度から2028年度の各国の本邦研修の参加者です。	2026年7月3日
2026年7月8日	26a00469000000	モンゴル国・エスワティニ国のインクルーシブ教育分野にかかる各国別研修の実施業務(QCBS-ランブサム型)	人間開発部基礎教育グループ	「研修計画見直し」は大幅な内容変更が求められるのか、または基本的な枠組みは維持されるのか、どの程度の見直しになるのでしょうか。	次年度以降に計画をどの程度見直すかについては、初年度の研修の成果と研修後のモニタリングの結果によるものと考えます。	2026年7月3日
2026年7月8日	26a00469000000	モンゴル国・エスワティニ国のインクルーシブ教育分野にかかる各国別研修の実施業務(QCBS-ランブサム型)	人間開発部基礎教育グループ	業務管理グループ結成は可能でしょうか。	可能とする方向で考えていますが、詳しくは公示後に業務指示書の記載をご確認ください。	2026年7月3日
2026年7月8日	26a00469000000	モンゴル国・エスワティニ国のインクルーシブ教育分野にかかる各国別研修の実施業務(QCBS-ランブサム型)	人間開発部基礎教育グループ	技術研修の受入期間について モンゴルおよびエスワティニそれぞれについて、想定されている技術研修の受入期間についてご教示いただけますでしょうか。	・各年度、各研修でそれぞれ3週間の研修1回の実施を想定しています。エスワティニについて現時点で想定される第1回の本邦研修日程案は2027年2月20日～3月13日(移動日を除く)、モンゴルについて現時点で想定される第1回の本邦研修日程案は2027年3月6日～3月27日(移動日を除く)です。	2026年6月26日
2026年7月8日	26a00469000000	モンゴル国・エスワティニ国のインクルーシブ教育分野にかかる各国別研修の実施業務(QCBS-ランブサム型)	人間開発部基礎教育グループ	研修対象者について モンゴルおよびエスワティニそれぞれについて、想定されている研修対象者(所属機関、職種、人数等)がございましたら、ご教示いただけますでしょうか。	・各年度、各研修でそれぞれ10名の研修員の受入を想定しています。エスワティニの研修員候補者の属性は、教育省、地方教育局のインクルーシブ教育担当官、インクルーシブ学校教員が考えられます。また、モンゴルの研修員候補者の属性は、教育省、教育総合庁、国立教育研究所、首都・地方教育部門の「障害児の職業教育・訓練」関連事業担当職員その他、特別支援学校・職業訓練コース担当教員や一般教育学校の管理職、ソーシャルワーカー、教員が考えられます。	2026年6月26日
2026年7月15日	26a00325000000	全世界2026年度案件別外部事後評価パッケージⅡ-5(セネガル、ブルキナファソ、トーゴ)(一般競争入札(総合評価落札方式-ランブサム型))	評価部事業評価第一課	4/23に実施いただいた外部事後評価の説明会では、本パッケージには「ニジェール：中学校教室建設計画」が含まれておりましたが、プレ公示には記載されておりませんでした。ニジェールの案件は本パッケージでは含まれないことになったとの理解でよろしいでしょうか。	治安上の問題から、今年度ニジェール案件は実施しないことといたしました。	2026年5月27日
2026年7月15日	26a00346000000	ザンビア国市場志向型稲作振興プロジェクトフェーズ2	経済開発部農業・農村開発第二グループ	本事業では、クラスターアプローチの展開が活動の一つの柱となっていると理解しますが、Rice-SHEPであるMORiP研修パッケージの展開も本事業では実施することを想定しておりますでしょうか。	ご理解の通り、MORiP研修パッケージの展開も実施する想定です。	2026年7月3日
2026年7月15日	26a00391000000	ラオス国公共投資計画アドバイザー業務	ラオス事務所ラオス事務所直下	過去の協力の定着を目指すのか、新しい切り口での協力を実施していくのか。	統合後の新しい財務省において過去の協力成果が定着していく事を目指していくものになります。	2026年6月26日

公示予定日	調達管理番号	案件名	担当部・課	質問内容	回答	回答日
2026年7月8日	26a00184000000	全世界2026年度案件別外部事後評価パッケージⅡ-3(ギニア、マダガスカル、ブルキナファソ、セネガル)(QCBS-ランプサム型)	評価部事業評価第一課	現地渡航を想定されている場合、社の安全管理上の理由から、業務従事者は現地渡航せず、現地調査補助員を活用して現地調査を行う提案をした場合、現地渡航を前提とした提案と比較してマイナスに評価されることはありますか？	外部事後評価は、特記仕様書で机上調査(現地渡航なし)とした場合を除き、1回以上の現地調査としていますが、成果品の質が確保されることがプロポーザルの提案で確認できた場合は、渡航回数のみでマイナスの評価は行いません。	2026年4月15日
2026年7月15日	26a00391000000	ラオス国公共投資計画アドバイザー業務	ラオス事務所ラオス事務所直下	ITシステムはどのようなツールか。ITシステムを更新していく事は期待されるのか。	評価のワークフローに活用されるシステムです。現時点では、抜本的に更新する想定はありません。	2026年6月26日
2026年7月15日	26a00391000000	ラオス国公共投資計画アドバイザー業務	ラオス事務所ラオス事務所直下	過去の協力で整備されたITシステムがカバーする範囲は何になりますでしょうか。	『過去の協力で整備されたITシステム』は、公共投資プロジェクトの評価のために財務省内で活用いただくシステムを指しています。	2026年6月19日
2026年7月22日	26a00366000000	ボツワナ国IFNA栄養アドバイザー	経済開発部農業・農村開発第二グループ	カウンターパートは教育省になりますか。	企画競争説明書にて情報を提供させていただきます。	2026年7月7日
2026年7月22日	26a00486000000	全世界(広域)課題別研修「災害に強い山岳道路の開発・維持管理」(2026-2028年度)(国内業務)	社会基盤部運輸交通グループ	本案件は業務管理グループ(若手加点)の対象でしょうか。	本案件では企画競争方式から総合評価落札方式への変更を想定しており、業務管理グループ(若手加点)の対象としていません。	2026年7月6日
2026年8月26日	26a00399000000	ラオス国スタジアムを中心としたまちづくり・エリアマネジメント能力強化プロジェクト	社会基盤部都市・地域開発グループ	本案件は、業務管理グループかつ若手加点の対象となる予定でしょうか。それとも、若手加点はなく、提案書の2章において、『業務主任者を含む業務実施体制全体において、どのような人材活用の考え方の下で業務を遂行するのかについて提案を求める。』ことを想定されていますでしょうか。	本案件については、新しい発想や柔軟な視点が求められることから、業務管理グループを構成し、若手育成加点の対象とする方針です。一方で、多様な関係者との合意形成が不可欠であるため、これを遂行するための豊富な経験を有する人材と若手人材が連携する体制を重視します。	2026年6月23日
2026年9月2日	26a00385000000	ウズベキスタン国理工系高度人材育成事業準備調査(QCBS-ランプサム型)	東・中央アジア部中央アジアコーカサス課	本案件の背景・目的・想定出口など本公示の前に可能な限り理解させていただきたい	回答準備中です。	2026年7月1日